

さらしな の 十四 夜 月

前号に続き、さらしなの名月についてです。この写真はことしの中秋前日の十四夜（9月18日）、鏡台山から姿を見せた月です。撮影場所は千曲川河川敷（長野県千曲市三島、八幡両地区）に設けられた親水公園「水辺の楽校」の中の「芝生広場」。前号の中秋月と同じ撮影ポイントです。

さらしなの里の月は、東の方角にある千曲川対岸の山並みから姿を現すのですが、その位置は向かって右側の南から、日ごとに、左側の北にずれていきます。中秋月は北峰のやや北側から上りましたが、1日前は南峰の少し南側から現れました。

時刻は午後5時半すぎ。月の出は日ごと40分ほど遅くなります。この十四夜月は中秋月より40分ほど前に姿を現したので、まだ青みが残る空を背景に月面も白っぽくなっています。色を失っていく周囲の景色の中での白色。稜線から上りたての月は上空よりもずっと大きく見えます。夕間の月とはまた一味違い、大変これも趣があります。